

# タウンニュース

川崎市宮前区版 2019年3月15日掲載

## 市政報告 宮前市民力で創り変える「新田園都市」とは 宮前区をだれもが「引っ越して来たい」「住み続けたい」と感じられるまちに みらい川崎市議会議員団 おだかつひさ



おだかつひさ

1961年市生まれ、駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業(地方自治、都市政策専攻)国会議員秘書を経て、2003年市議会初当選、現在4期目。まちづくり委員会委員、原水爆禁止川崎市連絡会議事務局長、好きな言葉「知行合一」、有馬在住



警沼駅周辺の導入機能配置イメージ

警沼駅周辺を宮前区全体的活性化を促す「核」とし、地域生活拠点の形成を図るとの方針が2月4日、川崎市から示されました。区役所・市民館・図書館を移転・整備する計画です。

①多世代をバックアップし、すべての区民が受益者に。「持続可能なまち宮前区」を創造します。

②区民の利便性を高め、さらには公共施設の充実を図る絶好のチャンスです。当初の更地売却の懸念を克服させました。現在、向丘出張所についても進行して方針が示される予定です。

③スマートフォンから予約可能な「オンデマンドバス」や坂道や狭い道でも走行できる「パーソナルモビリティ」が整備されます。

④交通至便な警沼駅前に市民館とホールが整備されます。川崎市の中核の芸術・文化の殿堂となることが期待されます。

⑤多世代をバックアップし、すべての区民が受益者に。「持続可能なまち宮前区」を創造します。

⑥区民の利便性を高め、さらには公共施設の充実を図る絶好のチャンスです。当初の更地売却の懸念を克服させました。現在、向丘出張所についても進行して方針が示される予定です。

⑦スマートフォンから予約可能な「オンデマンドバス」や坂道や狭い道でも走行できる「パーソナルモビリティ」が整備されます。

⑧交通至便な警沼駅前に市民館とホールが整備されます。川崎市の中核の芸術・文化の殿堂となることが期待されます。

⑨警沼駅周辺を宮前区全体的活性化を促す「核」とし、地域生活拠点の形成を図るとの方針が2月4日、川崎市から示されました。区役所・市民館・図書館を移転・整備する計画です。

⑩多世代をバックアップし、すべての区民が受益者に。「持続可能なまち宮前区」を創造します。

⑪区民の利便性を高め、さらには公共施設の充実を図る絶好のチャンスです。当初の更地売却の懸念を克服させました。現在、向丘出張所についても進行して方針が示される予定です。

⑫スマートフォンから予約可能な「オンデマンドバス」や坂道や狭い道でも走行できる「パーソナルモビリティ」が整備されます。

⑬交通至便な警沼駅前に市民館とホールが整備されます。川崎市の中核の芸術・文化の殿堂となることが期待されます。

イ(電気自動車)などの実験で、宮前区での導入の検討に弾みを。

たまプラーザ駅北側地区を対象に東急電鉄が郊外住宅地の多様な移動選択肢の整備を目的に「郊外型Maas(最適な移動手段提示サービス)実証実験」を行っています。

交通至便な警沼駅前に市民館とホールが整備されます。川崎市の中核の芸術・文化の殿堂となることが期待されます。

スマートフォンから予約可能な「オンデマンドバス」や坂道や狭い道でも走行できる「パーソナルモビリティ」が整備されます。

多世代をバックアップし、すべての区民が受益者に。「持続可能なまち宮前区」を創造します。

区民の利便性を高め、さらには公共施設の充実を図る絶好のチャンスです。当初の更地売却の懸念を克服させました。現在、向丘出張所についても進行して方針が示される予定です。

警沼駅周辺を宮前区全体的活性化を促す「核」とし、地域生活拠点の形成を図るとの方針が2月4日、川崎市から示されました。区役所・市民館・図書館を移転・整備する計画です。